

生成 AI・ICT で拓く！鶴二中 DX 通信 第 1 号

発行日 令和 8 年 10 月 6 日
発行元 鶴川第二中学校
研究推進委員会

先生の「余白」が、子どもたちの笑顔を育む

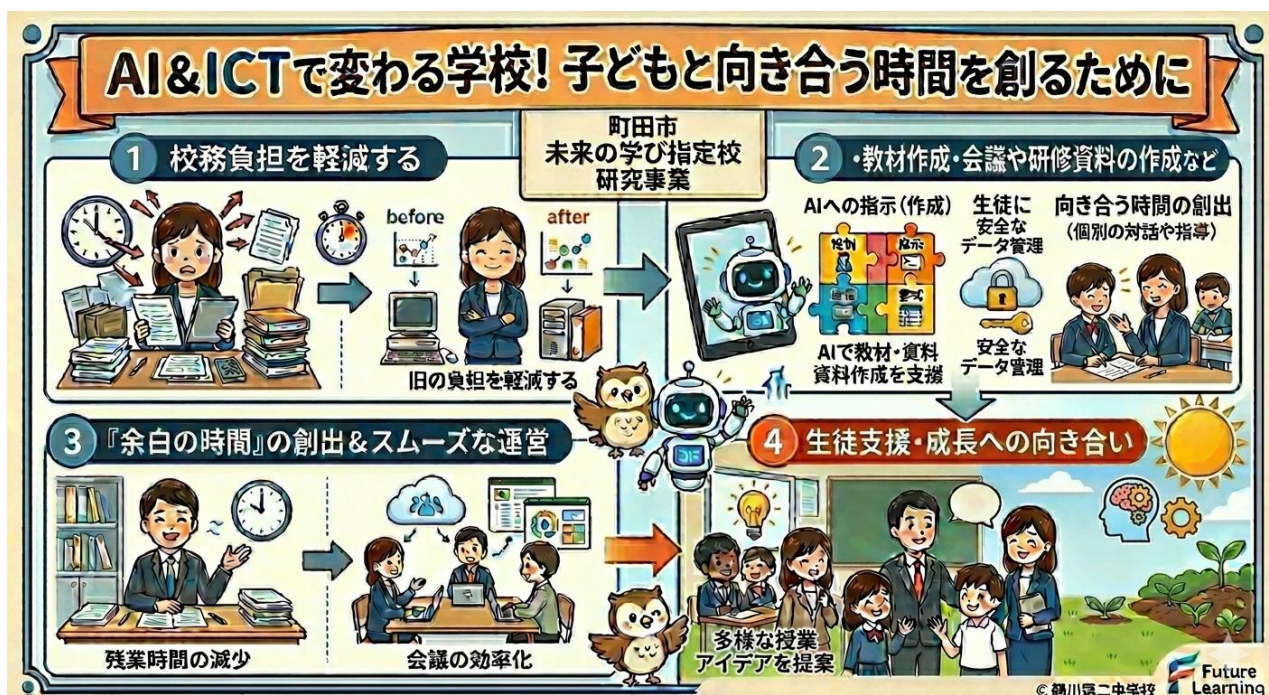
～「気づき」を、感動の連鎖へ～

なぜ今、学校で生成 AI や ICT を使うの？

本校は今年度、町田市教育委員会の『未来の学び指定校』として、ICT や生成 AI を活用した校務改善に取り組んでいます。AI を使う一番の目的は、教員の書類作成や事務作業の時間を短縮し、子どもたちと直接向き合う『時間と心の余白』を創り出すことです。授業の工夫や丁寧な個別指導、悩み相談の時間を増やすための前向きな改革です。

生成 AI・ICT を活用した 校務改善の取組

月	【項目】 研修内容（日にち）
4	ICT・生成 AI に関する教員への事前アンケート（14）
5	ICT・生成 AI の使い方、実践例の紹介（7）
6	企業における ICT、生成 AI の活用事例（10）
7	ICT・生成 AI に関する教員へのアンケート
8	学校現場における ICT、生成 AI 活用による校務改善・指導案作成
9	ICT・生成 AI に関する教員へのアンケート



1. アンケート結果:成果が数字に表れています！

日常的に校務で活用

68%

教員の約 7 割が日常活用

1 人あたりの削減時間

週 3.2 時間

年間約 150 時間の余白創出

生徒と向き合う時間増加

76%

「成果を実感」と回答

2. 学校では生成 AI をどう活用しているの？

① 授業の準備・ワークシートの作成(活用率 82%)

一人ひとりの理解度に合わせた補充問題や、興味を惹く解説のアイデア出しに活用しています。

② テスト・練習問題の作成(活用率 64%)

思考力を育む多様な問題のバリエーションを作成し、学習効果を高めています。

③ お便り・所見の下書き作成(活用率 52%)

伝わりやすい文章構成を AI に相談し、誤字脱字チェックや推敲の効率を高めています。

3. 保護者の皆様へ「安心・安全の 3 つの約束」

🔒 約束①:個人情報や生徒のデータは『絶対に入力しません』

生徒の名前、テストの点数、個人が特定される情報は AI に一切入力しません。プライバシー管理を徹底します。

👁️ 約束②:最終確認は必ず『教員の目』で行います

AI が作成した文章や問題はそのまま使わず、必ず担当教員が内容の正しさ・適切さを確認・修正しています。

🛡️ 約束③:安全が担保された『教育専用ツール』を使用します

町田市教育委員会が安全性を確認した専用のシステムを利用し、情報漏洩や誤情報の拡散を防止しています。

4. 今後のロードマップ

STEP 1:種まき

AI 活用ガイドライン策定
校内研修の充実

STEP 2:芽吹き

チームでの教材共有
校務自動化・効率化

STEP 3:開花

創出した『余白』で
個別最適な学びの実現

- 地域・保護者の皆様とともに、安心で質の高い未来の学校づくりを進めてまいります。ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
- 本おたよりは、生成 AI を活用して作成されました。